

第36回定期演奏会へ向けて

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年10月8日（日）第36回定期演奏会

記事

今日は同仁教会で本番でした。

オルガン搬入のために、午後2時過ぎから何人かが待機していましたが、いくら待ってもオルガンを持って来て下さるH氏は現れず、連絡も付かない状態でした。

そこで、本番でオルガンを弾いていただく平野さんが急遽別のところに連絡して、G氏のところからオルガンを借りる事が出来るように手配して下さいました。もしだめだったら、教会に設置してあるチャーチモデルの電子オルガンか、練習で使用しているキーボードで本番を行う事になるところでした・・・。

バタバタしていて、結局発声練習は出来ませんでした。

オルガンが到着するまで、取りあえずキーボードでゲネプロを開始。第1部のリハーサルが終わり、休憩しようというところでオルガンが到着し、後半はそのオルガンでリハーサルを行う事が出来ました。

午後6時の開場前からたくさんのお客様がいらして下さい、6時半から予定通り開演。
演奏も色々ありましたが、何とか無事に演奏会を終える事が出来ました。

オケの方々、受付、録音、その他色々お手伝いして下さい下さった方々には、心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました！

午後8時半から10時半まで、「タベルナ・アイ」で打ち上げパーティーを行いました。
参加者は団員全16人、スタッフの方々3人、オケの方々6人、水野先生の計26人でした。

備考

今週の水曜日の練習はお休みですが、来週からは新しい曲の練習に入ります。
楽譜は準備中ですが、取りあえずコピー譜を配布します。注文中の楽譜は今月中には届く予定です。

アルトとバスに見学の方が来られる予定です。

発声個人レッスンの予定

10月18日・・・堀江

10月25日・・・大久保

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年10月7日（土）

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erlöser lebt
Johann Rosenmüller : Welt ade, ich bin dein müde

記事

今日は同仁教会礼拝堂にて、2回目のオケ合わせでした。
13時に集合して舞台設営を済ませ、発声練習を17分程行ってからオケ合わせ開始。
先日の第1回目のオケ合わせと同じ曲順で練習しました。

内容

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

26小節からのフレーズの最初の言葉のErはいつも裏拍から入りますが、強調したいので、もっと力強くお願いします。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

各節最後から3小節目のソプラノの上昇型は、二つのパターンに分けます。

A・・・膨らませたまま(1・4・5・7)

B・・・少し膨らませてまた戻る(2・3・6)

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

練習終了予定は5時でしたが、4時に終わりました。
明日はいよいよ本番です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年10月4日 (水)

練習箇所

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt:
Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmüller: Welt ade, ich bin dein müde
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

記事

発声個人レッスンは小澤さんでした。
全体発声は40分。

内容

★Es segne uns Gott
2回通しました。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
最初に26小節から54小節を練習。長母音のErは、もっと「イ」に近づけて下さい。
バスの26小節と第2テノールの30小節のH→C#の音程に注意。
48小節から57小節の付点は、男声はまだ長過ぎます。
次に8小節からの部分を練習。バスは11小節の出のFの音を丁寧に正確に。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
71小節から128小節を練習。77小節のバスのAの音を正確に。91小節も同じ。バスは、休符が続いたあとの入りがいつも危ないです。他のパートや伴奏を聞いて正確な音で入って下さい。

★Welt ade, ich bin dein müde
Weltとadeの間に隙間を入れて下さい。adeはaにアクセントが付かないようにして、deに向けてふくらませて下さい。

★Es ist nun aus mit meinem Leben
通しました。長いので退屈させないように、各節ごとに先生が色々な表情を付けて指揮されていますので、指揮を良く見ましょう。

ページをめくる時は、出来るだけ静かにお願いします。
楽譜の製本とカバーの取り付けがまだの方は、7日(土)のオケ合わせまでに済ませておいて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
全員出席でした！

備考

合唱だけの練習は今日で最後です。7日(土)は2回目の、そして最後のオケ合わせです。
13時に集合して会場の設営と発声練習をします。オケ合わせは13時30分から始まります。
本番当日の打ち上げパーティーの会費は、7日に平石さんまでお願いします。

発声個人レッスンの予定
10月18日・・・堀江
10月25日・・・大久保

11日は、練習はお休みです。
18日からJohann Michael HaydnのVier Stückeを練習予定です。1997年の第17回定演で演奏した曲です。楽譜は18日に配布予定で、残りの曲も今月中には配布できる見込みです。Johann Ernst Eberlin、Johann Georg Albrechtsberger等、ザルツブルクとウィーンで活躍した作曲家の曲で、全て4声のラテン語です。

来年の演奏会の日程が決まりました。
本番は2018年10月7日(日)で、その前日の6日(土)がリハーサルです。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年10月1日 (日)

練習箇所

練習の順番

全部の楽器(ヴァイオリン2、ヴィオラ2、チェロ、コントラバス、オルガン)が入る曲

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

ヴィオラの入らない曲

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

チェロ・コントラバス・オルガン伴奏の曲

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

オルガンのみの伴奏の曲

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erlöser lebt

最後に無伴奏の曲

Johann Rosenmüller: Welt ade, ich bin dein müde

記事

今日は本番と同じ、同仁教会で第1回目のオケ合わせでした。

午後3時に集合してセッティング。

16分ほど発声練習を行った後、3時半からオケ合わせを開始。

各曲とも、最初に通してから部分練習の後、再度通しました。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 5の2小節目の4拍目のアルトは、8分休符+8分音符を4分音符に変更しました。

140小節のバスのD#を正確にお願いします。時々上ずっています！

162小節のアルトの2拍目裏のFが、F#になってしまう人がいるので確認して下さい！

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

77小節のバスの入りの音を正確にお願いします！

115小節のテノールの最後の音はC#です。時々前の音と同じになってしまうので要注意！

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
10月4日・・・小澤
10月18日・・・堀江
10月25日・・・大久保

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年9月27日 (水)

練習箇所

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmüller: Welt ade, ich bin dein müde
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erlöser lebt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は30分。

内容

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

通してからアルトの練習。1小節のDie、7小節のich、71小節のHinfort等のiの発音に注意。出だしは慎重に。
98小節の全音符は内切りして下さい。次のソプラノにかぶらないように。

★Welt ade, ich bin dein müde

2小節3拍目のアルトの音程に注意。

最後のページ2小節目の2分音符の和音、曲の最後の和音がきれいにハモるように。

★Ich weiss, dass mein Erlöser lebt

最初のIch weissの子音をしっかり発音しましょう。

7・8小節のer wird michの言葉をしっかり喋りましょう。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

通した後、第6・第7節を練習しました。gute Nachtのuの発音に注意。浅くならないように。

219小節は膨らませ、220小節でおさめましょう。

224小節の最初の和音に注意。第3音を持っているソプラノは暗めに。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：1人(バス)

備考

10月1日(日)は、3時半から礼拝堂で第1回目のオケ合わせです。3時に集合して準備をしますので、ご協力下さい。

発声個人レッスンの予定

10月4日・・・小澤

10月18日・・・堀江

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年9月20日 (水)

練習箇所

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben
Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmüller: Welt ade, ich bin dein müde

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は18分。

内容

★Es segne uns Gott

uns、unser、und等のuの発音が浅くならないように。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

単語の語尾を押さないように注意しましょう。

49小節のMutのuが浅くならないように。

★Jesu meines Lebens Leben

通したあと、71～72小節のバスのメリスマと、30小節のテノールの練習をしました。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

die、ich等のiの発音が狭くならないように。横ではなく、縦に開いた広い「イ」にしましょう。

gekämpfetのA-ウムラウトは、顎がしまった「エ」ではなく、開いた「エ」で。

istの付点を延ばし過ぎないように。

★Welt ade, ich bin dein müde

1回通しました。来週はこの曲から練習の予定です。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 中西 山村
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

本番で使用する楽譜カバーの用紙が配布されました。薄い緑色が前半、濃い緑色が後半用です。当日までに各自準備しておいて下さい。

発声個人レッスンの予定
9月27日・・・大久保
10月4日・・・小沢

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年9月13日（水）

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は34分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 2から練習。

38小節のrechterの語尾のterが強くなるように。二つの8分音符を一つ一つ歌わないように。

42・43小節のerは長母音で、「イ」に近く発音して下さい。

44・45小節のesとstehtのsがくっつかないように。esを短く言い切ってから次のstehtを発音しましょう。

Vers 3

56小節からのArzeneiのAをはっきり。

62小節のGottのoを明るく発音しましょう。

63小節3拍目の和音をきれいに。

64小節1・2拍目を急がないように。

Vers 4

75小節のLichtとundの最後の子音を省略せずにはっきり発音しましょう。

83・84小節の3拍目は内切りして下さい。

86小節のerscheinetのerは長母音ではありません。時々長母音のように聞こえる事があるので注意して下さい。88小節のesも時々違う発音が聞こえます・・・。

Vers 5

バスの93・104小節の最後の音はGです。Dを歌わないようにお願いします！

Vers 6

134小節のバスの最初のEの音は、ソプラノのDの音に引っ張られないように注意。

139小節3拍目のTod、140小節1拍目のElend、3拍目のTodは内切りにして下さい。

147小節からのväterlichは3つのシラブルからなっていますが、一つの言葉に聞こえるように歌いましょう。アクセントは語頭です。

161小節からのdrumのuが浅くならないように注意。

このVers 6に何度も出て来るNotの発音が気になります。notではなく、長母音のno:tです！！

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

14小節から少しrit.して15小節に入り、16小節からテンポを戻します。

15小節は外切りにします。

21小節のderは、きつい口調ではなく柔らかく。

26小節からのErと、gefälltのgeの両方のeの発音を使い分けましょう。Erのeは長母音で口を少し横に開き、そのあとゆるめてgeを発音しましょう。

39小節の和音をきれいに決めましょう。

60・61小節のnichtは強めに。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

久し振りに全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

9月20日・・・大庭(アルト)

9月27日・・・

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年9月6日（水）

練習箇所

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erlöser lebt

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は34分。

★Ich weiss, dass mein Erlöser lebt

3・6小節のErlöser のO-ウムラウトが「エ」になり過ぎないように、もう少し狭く。
 6小節のlebtの長母音が「イ」になり過ぎるとliebtになり、違う言葉になってしまうので注意。
 6小節最後のundはアウフタクトなので、重くならないように軽く歌いましょう。
 7小節のerは長母音で強調して発音しましょう。
 werde(14・21・25・28小節)、werden(16・34・36小節)、sehen(20・23・26・29・32小節)のeの長母音が「イ」になり過ぎないように。
 Fleisch(19・20・22小節)の発音に注意。schが鋭くならないように。
 und(7・8・13・17・21・32・35・38小節)のuの母音が浅くならないように。
 34小節のschauenのschが鋭くならないように、柔らかく発音しましょう。
 36小節1・2拍のハーモニーがきれいに決まるように。37小節1拍目も同じように。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

各節最後の方に出て来るguteのteは、語尾なので曖昧に。
 16小節のverfangen、20小節のausgegangenの語尾のgenは鼻濁音です。
 20小節最初のハーモニーがきれいに決まるように。48小節も同様に。
 81小節のoのあとは隙間を入れて下さい。oは狭い母音です。
 114・115小節のkreuzeshenkerは一つの言葉なので、つなげて歌いましょう。
 117～120小節はワンフレーズで。
 128小節最初のハーモニーをきれいに。
 150小節のdeinemの最後のmをもう少し意識して歌いましょう。
 169小節の3つの2分音符は他の個所とは違い、ポツリポツリとした虚しい感じで歌いましょう。
 170小節のausのあとは、間をあけて次のesに行きましょう。
 200小節最初のハーモニーに注意。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

8～19小節の部分のerは、狭い母音で強調して発音して下さい。
 zuの母音が浅くならないように。
 26～41小節の部分のerも強めの長母音で。
 48小節からの付点のリズムに注意。伸びた感じにならないように、弾む感じで歌いましょう。特に男声はまだ伸び過ぎています。そしてまだ単語の切れ目がhinge /rücktになってしまっています。正解はhin /gerücktです！！
 58小節からの部分のverkehreの語尾は強調しないように。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
 アルト：上松 大庭 堀江
 テノール：小澤 翁長 大庭
 バス：柿沼 椎野 中西
 欠席：4人(ソプラノ1名、アルト2名、バス1名)

備考

発声個人レッスンの予定
 9月13日・・・大庭()
 9月20日・・・大庭()

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年8月30日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Johann Rosenmüller: Welt ade, ich bin dein müde

記事

発声個人レッスンは上松さんでした。

全体発声は23分。

内容

★Jesu meines Lebens Leben

2番から練習。13小節のachの子音をきちんと発音しましょう。

同じ小節のausgestandenのstandenの部分は8分音符二つですが、staの母音aを長目に歌いましょう。nに早く行き過ぎないように。

14小節のHohnの母音は長母音なので暗めに。口を開け過ぎないように。

18小節のvonの母音が短過ぎないように長目に歌いましょう。

20小節のliebsterの語尾は、はっきりと「テル」と言わずに曖昧な「ター」にして下さい。今までに何度も指摘されている事です。

次に4番を練習。54小節最後のNotの母音は長母音なので、狭く発音しましょう。

59小節のZitternの最後のnをしっかりと発音しましょう。

61小節のtausendmalはシラブルが三つに分かれないように、一つの言葉になるように歌いましょう。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

19小節から練習。einen、guten等の語尾のnをしっかりと発音しましょう。

gekämpfetのA-ウムラウトは明るい音で。

55小節のバスは、52小節と混同しないように。特に最初のGの音がAに行ってしまうないように。

habeのbeは語尾になるように歌いましょう。

71小節からの部分の最初のHinfortの発音に注意。Hは最初にchが入らないようにそっと入りましょう。

77小節のバスの出の音を正確に。95小節も同様に。

82・105小節のバスは、他のパートとリズムが同じになってしまっています！

111小節からの部分の各パート最初のwelcheのwとcheの発音に注意。

164小節からの部分のauchの発音に注意。auは「アウ」よりも「アオ」に近く。chもしっかり発音しましょう。

★Welt ade, ich bin dein müde

第1節

adeは、aからdeに行く途中で膨らませましょう。

stolzeは柔らかく。

第2節

dahinのhはそっと入りましょう。前にchが入らないように。

KrankheitのKとrの間に母音が入らないように。

第3節

ソプラノの最初の二つの8分音符が忙しく聞こえないように、最初のUnを長目に。

Unaussprechlichの二つのsの発音を言い換えて下さい。ausの最後のsとsprechの最初のsは違う発音なので、ひとまとめにしないように。

schöneのO-ウムラウトは口を開き過ぎないように。

klingetの最初の二つの子音の間に母音が入らないように。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1名(アルト)

備考

発声個人レッスンの予定

9月6日・・・柿沼

9月13日・・・大庭()

9月20日・・・大庭()

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年8月23日 (水)

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Johann Georg Telemann: Es segne uns Gott

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。

全体発声は32分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 4

バスは、77小節の4つの8分音符を一つ一つ歌わず、Boesesとgoennenの二つの言葉になるように歌いましょう。

78小節の最初の音があやしいです。伴奏の2拍目と同じ音なので、伴奏が入れば大丈夫だと思いますが・・・。

88小節のesの発音は「エス」です。時々「イ」が聞こえますが、このeは長母音ではありません！

Vers 5

バスの93小節最後の音は3拍目と同じGです。曲の最初と同じDの音で歌っている人は直して下さい。

27・28ページのalleの発音に注意。「アーレ」にならないように。

127小節最初のバスの音はC#です。直前のHから上がり切らない事が多いです。

128小節2拍目のバスのGの音が下に行き過ぎてF#になってしまう事があります。

Vers 6

147～151小節に出て来るvaeterlichの発音は、vaeよりもterの方が口を開く事がないように。

162小節のアルト2拍目裏の音はFです。時々#を付けてしまう人が居るので注意。167小節と混同しないように！

171小節の長い音は、3拍目あたりが膨らむように。

★Es segne uns Gott

通しました。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

1. Strophe

7小節のGottのt、Werkのkをしっかり発音しましょう。

9小節のFeirabendは、Feirとabendに分けずに一つの言葉になるように歌いましょう。バスは四分音符が続くので、一つ一つ分かれてしまいがちです。

12小節のvollendtは二つのl(エル)をしっかり発音して、次のeもきっぱりと歌いましょう。

13小節のschleichtの語尾の3つの子音をしっかりと発音しましょう。

16小節のsoのoは長母音なので暗く。

17小節のmoegenは、genにアクセントが付かないように。

18小節のSachenとanの間は隙間をあげないように。つまりノーブレスです。

19小節のバスの3・4拍目のリズムに注意。他のパートと同じように付点を付けないで下さい。

2. Strophe

36小節のnunmehrのnunのuは長母音です。カタカナで書くと「ヌン」ではなく、「ヌーン」です。

42小節のtretenと次のanの間はノーブレスです。

43小節の3・4拍は、バスだけ他のパートとリズムが違って書かれているので、同じにしないで下さい。

48小節のregiertの最後のtをしっかり飛ばして下さい。

3. Strophe

55小節のHauptのuは、日本語の「ウ」よりも「オ」に近く。最後の二つの子音ptをしっかり発音しましょう。

66小節のgeratenと次のmeinの間はノーブレスです。

67小節の3・4拍のバスのリズムは、他のパートと合わせて付点を付けないで下さい。

69小節のOhnのOは長母音なので、暗く。

4. Strophe

80小節の3拍目と4拍目の間はノーブレスです。

85小節の3拍目のあとはブレスをとるので、stundeの語尾は短く。

86小節の3・4拍目のバスは、他のパートとリズムを合わせないで下さい。

87小節のFleissの語尾は「シュ」ではなく「ス」です。時々バスの中で「シュ」になっている人が居ます。

5. Strophe

115小節のsendeの語尾のdeが強くなるように。

116小節のobenのoは長母音です。明るい「オ」にならないように。その前のvonとobenのoを区別して発音しましょう。

122小節の3拍目のあとはノーブレスです。

ノーブレスの個所は前にも何度か注意されています。楽譜にしっかりと書き込んでおいて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大庭 堀江

テノール：小澤 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：2人(アルト・テノール各1名)

備考

来年の定演の日程を、今年と同じ10月の連休で調整中です。まだ確定ではありませんが、本番は10月7日(日)を予定していますので、メモをしておいて下さい。

発声個人レッスンの予定

8月30日・・・上松

9月6日・・・

9月13日・・・

9月20日・・・

2017年8月16日 (水)

練習箇所

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Georg Friedrich Telemann: Es segne uns Gott

記事

久しぶりに、エアコンが新しくなった同仁教会2階の部屋での練習でした。
発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は35分。

内容

★Welt ade, ich bin dein muede

ソプラノがバスの隣に行ったり、バスがソプラノの隣に行ったり、パートの並びを色々替えて歌いました。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

最初のIchのchと、次のweissのwをきちっと発音しましょう。

5小節2拍目のAC#Eの和音をきれいに。

25小節のwerdeは長母音です。

26小節のsehenも長母音ですが、イの要素が強過ぎて「ズィーエン」にならないように。29・32小節も同じ。

最後のFremderのmをしっかり鳴らしましょう。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

いつもよりも少し早目のテンポで通しました。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

1度通しました。

★Es segne uns Gott

1度通した後、最後の3小節のアルトとテノールが3度で動く部分の練習をして、最後にもう1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野
欠席：3人(ソプラノ1名、バス2名)

備考

発声個人レッスンの予定
8月23日・・・大久保
8月30日・・・上松

2017年8月11日（金・祝日）

練習箇所

(プログラムの最後から逆順に全曲)

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

記事

水曜日と同じ、田端のスタジオ・アンダンティーノでの練習でした。
午後3時から4時まではバスのみで、4時からは全パートでの練習。
途中で休憩をはさみ、予定通り8時近くまで練習しました。

発声は25分ほど。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

通した後、Vers 2のアルトの出だしの部分を練習しました。Gottはもう少し明るく。

162小節のアルトの2拍目裏の音はFです。時々#が付いてしまう人が居ます。167小節4拍目裏と混同しないように注意しましょう。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

DerのDeは、あまりディになり過ぎないように。

ob er gleich zu zeitig stirbtの部分の長い音は少し膨らませましょう。

16小節の最初の和音をきれいに。

5・6ページのgefaelltやwohl等を、はっきりと明るく歌いましょう。

48小節から57小節に何度も出て来るhingeruekketのgeが鼻濁音になっている人が、男声の中にまだ何人か居ます。大変奇妙に聞こえますので直して下さい。この単語の切れ目はhinの後です！！

57小節の4拍目は押さないようにおさめて下さい。最後の子音を揃えましょう。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

最初の3つの2分音符はサラッと歌わずに、一つ一つかみしめるように歌いましょう。

Pで歌うフレーズは、全部同じではなく、その中で変化を付けて歌いましょう。

各節の終わりから3小節目のソプラノのNachtの言葉が付いた音型は途中を膨らませて、

3拍目は次の小節のPに備えて少し抑えましょう。

87小節のEngelのgは鼻濁音です。

91小節のWegの発音に注意！ 分離動詞の前綴りや副詞のwegとは、スペルが同じでも発音は異なります。この場合は名詞です。名詞のWegの発音記号はve:kです。

117～120小節はひと息で歌いましょう。

175小節のバスの3拍目は、半拍遅れて出るテノールの為にもしっかりと歌いましょう

(他の節も同じ)。

第7節は、最初の4小節をひと息で歌いましょう。222～224小節もつなげて歌いましょう。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

メサイア第3部冒頭のソプラノの aria と同じ内容で、希望と力に満ちた曲です。

先生が対訳を出して下さっているのですが、単語や文章の意味を確認して、気持ちを籠めて歌いましょう。

★Welt ade, ich bin dein muede

第2節の Krankheit los から次の und へは文章がつながっているので、ブレスをしても構いませんが、途切れないように歌いましょう。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

通した後、71小節から先を練習しました。

前回にも書きましたが、テノールの114小節の16分音符のリズムと115小節最後の音を正確にお願いします。114小節は1拍目をタイで延ばしていますが、その後の動き出しが遅いので、その後の16分音符が慌てています。115小節の最後の音はC#です。前の音と同じDの音を歌っている人が居ます。

129小節からの部分の allein は、2つの8分音符を1つずつ歌わずに滑らかに歌いましょう。

曲の最初のほうで、ist と vorhanden をつなげて歌わずに ist を短めに歌う事になっていますが、人によってバラバラです。ist を短くするのは良いのですが、そのために次の vor に早く行ってしまい、リズムが崩れる事があるので注意しましょう。相変わらず ist が長過ぎる人も居ますが・・・(特に男声)。

★Jesu meines Lebens Leben

通しました。

3・4拍目に重要な言葉が来る事が多いので、言葉の抑揚を考えながら歌いましょう。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

第4節あたりから少し雰囲気盛り上げて歌いましょう。

バスは引き続きAの音を注意深く歌いましょう。

★Es segne uns Gott

通した後、15・16小節のアルトの練習をしてから、最後にもう一度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
8月16日・・・辻村
8月23日・・・大久保
8月30日・・・上松

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年8月9日 (水)

練習箇所

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben
Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

記事

今日はいつもの練習場ではなく、田端のスタジオ・アンダンティーノでの練習でした。
発声個人レッスンは平石さんでした。
全体発声は23分。

内容

★Es segne uns Gott

62小節のテノールのF#→A#の音程が不正確です。この部分は伴奏がないので特に注意して下さい。
66小節のテノールの最初の音はDです。Hを歌わないように。
70小節のアルトのA#は上ずらないように。前のHの音との幅が狭過ぎます。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

通したあと、7・12・31・36・55小節のバスのA♭の音の確認をしました。

★Jesu meines Lebens Leben

通しました。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

111小節のテノールは、前の伴奏のテンポを良く聴いて、同じテンポで入りましょう。
114小節のテノールの最初のC#を延ばし過ぎないように。4分音符1つ+16分音符1つ、つまり16分音符5つ分より長くならないように。今は延ばし過ぎて、2拍目の4つの16分音符が、8分音符1つ+3つの16分音符の3連符のように聞こえます。
115小節のテノールの最後の音はC#です。前の音と同じDになってしまっているので注意しましょう。

★Welt ade, ich bin dein muede

第1節の最初の3つの音は同じではなく、Weltのあとに少し隙間を入れて下さい。
2小節目のバスのE♭は高めに。
3頁上段2小節目のHimmelのあとは、少し隙間を入れてzuに入りましょう。
第2節のKrankheitのあとも同じように、隙間を開けてlosに入りましょう。
3頁下段3小節目のバスのAの音を低く入らないように。
4頁最後から2小節目のバスのE♭は正確な音で入りましょう。

水野先生から、プログラム用の訳が配布されました。よく目を通して置いて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定

8月16日・・・辻村

8月23日・・・大久保

8月30日・・・上松

8月9日(金・祝)は臨時練習です。今日と同じスタジオ・アンダンティーノでの練習です。

午後3時から4時まではバスの練習で、他のパートは4時からになります。

終了時間は8時の予定です。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年8月2日 (水)

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

記事

今日も3階での練習。

発声個人レッスンは堀江さんでした。

全体発声は32分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 1

19小節のfaengtのgをしっかりと発音すること。

31小節最後のdrumと次の小節のlassがつながらないように、mを発音し終ってから次のlに行くように。

Vers 2

最初のWasのWをしっかりと発音しましょう。

40小節3拍目裏のF#が決まらないので要注意です。前のgenuegenのあと、慌てて次のanに入ってしまうのが原因だと思います。genuegenで一旦フレーズを終わらせてから、落ち着いて次に行きましょう。

43小節のUn glueckは、Glueckの前に前綴りのunが付いたものです。Glueckも大事なので、gが消えてしまわないように、はっきり発音しましょう。

44・45小節のes stehtは、esのsとstehtのsをどちらもしっかりと発音しましょう。

Vers 3

7ページのfuerと次のArzeneiは離して歌いましょう。

64小節のバスの4拍目のDが不正確です。

Vers 4

77小節3拍目から4拍目まで続くDの音は正確に延ばしましょう。短か過ぎて、待ちきれずに次の小節で早く出てしまうことがあります。長い音や休符がある時は、拍子を頭の中で数えながら歌いましょう！

86小節のerscheinetのerは前綴りのerです。長母音にしないで下さい。

88小節のesが毎回違う言葉になっている人がいるので、なおして下さい。

バスは単語の最後の子音が聞こえない事が多いので、しっかり発音しましょう。

Vers 5

バスは、104小節最後の音を違う音で入らないように注意。

バスは、124小節のHからCの半音の幅が狭過ぎないように。

バスの125小節1拍目と2拍目の間はコンマがあるので、繋げて歌わないように。

Vers 6

140小節のDシャープを正確に。

バスは152小節のあと1小節お休みですが、ページをめくると1拍目裏からすぐに出るので出遅れないように。

160小節3拍目裏のGの音を違う音で出ないようにしましょう。

★Jesu meines Lebens Leben

3小節目のgegebenのEの音をしっかり出しましょう。

18小節のSuendenkettenの語尾のtenにアクセントが付かないようにおさめましょう。

30小節の二つ目の音はHです。時々ㄱが付いてしまうので注意しましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

久し振りに全員出席でした！

備考

先週、演奏会のチラシが配布されましたが、今日はチケットが配布されました。

来週8月9日は練習場所が変更になり、田端のスタジオ・アンダンティーノで行います。時間はいつもの水曜日と同じです。

11日(金・祝)も同じ場所での練習で、時間は午後3時から8時までです。最初の1時間はバスの練習をしますので、他のパートは4時からになります。

発声個人レッスンの予定

8月9日・・・平石

8月16日・・・

8月23日・・・

8月30日・・・上松

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年7月26日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

3階の部屋での練習でした。

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。

全体発声は28分。

内容

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

バスは7・8・9小節をはじめ、曲を通して何度も出て来るA㇗の音が相変わらず低く入ってしまうので要注意です。

★Es segne uns Gott

通してからテノールの練習をしました。66小節の1拍目はHに行ってしまうがちですが、Dです。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

1. 最初はPで入ります。8小節のフェルマータは延ばさず、段落を付ける程度に。9小節から少し大きくしてmpで始めます。13小節から少し膨らませ16小節でおさめ、17小節からまた膨らませて20小節でおさめます。21小節は少し強めに入ります。26小節のausのあとのコンマを活かしてしっかり切ります。29・30小節はf。

2. fで始め、43小節から更にcresc.して45小節で最も強く。47小節からおさめて、48小節で段落を付けます。49小節から56小節はpですが、51小節で少し膨らませて52小節でおさめます。55小節もまた少し膨らませて56小節でおさめます。57小節はfで始め、60小節に向けてdecresc.します。62小節のコンマのあと、切れ目を入れます。61~64小節はp。65・66小節はf。

3. fで始め、76小節でおさめ、切れ目を入れます。77小節はpで始めます。80小節のフェルマータは無し。81小節はfで始め、84小節でおさめます。85小節は引き続きfで始めて87小節で膨らませ、88小節でおさめます。91・92小節間も同じように。93小節から102小節までずっとf。

4. pで始めます。116小節のフェルマータは無し。120小節で一区切り。123小節で膨らませ、124小節でおさめます。127・128小節間でも同じように。129小節はf。132小節でdecresc.して切れ目を入れ、133~136小節はp、137・138小節はf。

5. pで始め、47・48小節で膨らみを付けます。151・152小節も同じように。153小節はfで入り、156小節でdecresc.します。157小節はpで入り、159・160間で膨らみを付けます。163・164小節も同じ。165~172小節はpで、173・174小節はf。

6. fで始め、185小節でpに。189小節からf。192小節で段落を付け、193小節でpに。195・196小節間で膨らみを付けます。199・200小節間も同じように。201~204小節はf、205~208小節はp。209・210小節はf。

7. pから始め、219・220小節間で膨らみを付けます。223・224間も同じように。225小節からf。231・232小節間で膨らみを付けます。235・236小節間も同じ。237~246小節はf。

★Ich Weiss, dass mein Erloeser lebt

4分音符を一つずつ歌わないように。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

通した後、26小節からの部分を練習しました。

gefaelltの発音に注意しましょう。「フェ」が暗くならないように明るくはつきり。

wohlのoは暗く。

48~57小節の部分の付点は、長過ぎないように短く弾んだ感じで歌いましょう。

hingeruecketという単語の切れ目はhinの後です！ hinge-ruecketだと勘違いしている人は居ませんか？ hinの付点を短く歌えば自然にそこで区切りが出来、次のgeruecketのgeが鼻濁音になるはずがないのですが…。そろそろ直

して下さい！

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
8月2日(水)・・・堀江
8月9日(水)・・・発声レッスンは行いません。
8月11日(祭・金)
15時～15時半・・・
15時半～16時・・・

演奏会のチラシが配布されました。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年7月19日 (水)

練習箇所

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

先週に続き、今日も3階での練習でした。
発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は26分。

内容

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

通してから、11ページのバスの練習をしました。

77小節のバスの出だしの音を正確に。上ずって入りがちです。79小節3拍目のHの音は下に行き過ぎないように。81小節3拍目のGの音は上がり切らない事が多いです。

次に最初のフレーズの言葉の練習をしました。istの付点を延ばし過ぎないように。istを短めにして、次のvorhandenのvorがしっかり発音出来るようにしましょう。

★Jesu meines Lebens Leben

通したあと、25小節からのテノールのパートソロを練習しました。26小節1拍目最後の8分音符は短めにして、隙間を開けましょう。uが入っている言葉がたくさん出てきますが、もう少し深いuにしましょう。du、zu、um、Ruh、Fluch、Jesu等。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

アカペラで練習しました。各フレーズの終わりは内切りにします。

バスは、出だしのC→A \flat や、G→A \flat 等のA \flat の音が不安定になりがちです。たくさん出て来くるので、その都度注意深く歌いましょう。

17小節のmoegenのO-ウムラウトの発音に注意。

18小節3拍目の後はブレスなしで4拍目へ。42小節3拍目の後、66小節3拍目の後、80小節3拍目の後、122小節3拍目の後も同じです。

87小節のFleissの発音に注意。フライシュではなくフライスです。

★Es segne uns Gott

最初は伴奏付きで、次にアカペラで通しました。

★Welt ade, ich bin dein muede

通しました。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

通しました。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

通したあと、107小節から最後の部分を練習しました。boesenの語尾を抜き過ぎて音程が崩れないように注意しましょう。

今日はパートごとではなく、バラバラの位置で練習しました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定
7月26日・・・大庭(アルト)
8月2日・・・
8月9日・・・

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年7月12日 (水)

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
全体発声は28分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

最初にVers 3からVers 6まで通したあと、Vers 3とVers 4を細かく練習しました。

48小節の4分音符の連続は全部同じに歌わず、強拍に重さが来るように。

49小節のwohlgetanと、50小節のwohlのoは狭いoです。

フレーズの最後は語尾を歌い過ぎないように、語尾らしくおさめましょう。51・70小節など。

52小節からの8分音符で動いているところは、言葉をしっかり喋りましょう。

86小節のerscheinetのerは前綴りのerです。長母音にしないで下さい。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

ErloeserのO-ウムラウトに注意。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

棒歌いにならないように！

guteのuの発音に注意。浅くならないように深く。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

5・6ページのwohl undは4分音符が2つ並んでいますが、同じではなくwohlをしっかりと、undは弱く。

62小節のkehreは「キレ」にならないように。語尾は押さないように。

87小節からの4分音符が連続する部分は、言葉が曖昧にならないようにしっかりと発音しましょう。特に3拍目のer mitから次の小節のihnが繋がらないように。

107小節と108小節は変化を付けます。107小節はフォルテ、108小節はピアノ、そして109小節でまたフォルテに戻します。

一番括弧の前はテンポを緩めずにまっすぐ進みます。

★Was Gott, das ist wohlgetan

通しました。

★Es segne uns Gott

通しました。

★Welt ade, ich bin dein muede

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：1名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定
7月19日・・・大庭(テノール)
7月26日・・・大庭(アルト)

■ [冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年7月5日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben
Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。
全体発声は23分。

内容

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

バスはCからA♭へ移動する時に、A♭が下に行き過ぎる事が多いので注意しましょう。

7・12・31・36・55・60・79・84・100・105・121・125小節を全て取り出して練習しました。ピッチだけでなく、音色にも注意しましょう。

61小節のvermerketの発音を勘違いしている人が多いので直して下さい。このmeは長母音ではありません！ ちなみに95小節のvermehrenは、meのあとにhが来ているので長母音です。辞書を引くとeの発音記号の違いがわかります！

アルトの133小節4拍目はGです！ 1節から5節まではBですが、6節だけ異なっているので勘違いしないように！

★Es segne uns Gott

フレーズ最初のesは弱拍から出ているので力まずに歌いましょう。

esよりも次のsegneの方に重さが来るように。segneなど長く伸ばしている音に膨らみを付けましょう。

★Jesu meines Lebens Leben

26小節のdichと次のerbaermlichの間に隙間を開け、erbaermをはっきり発音しましょう。29小節のhastも長く引っぱらずに短めにして、余裕を持ってzuに入るようにしましょう。

30小節の2番目の音はHです。時々Bになってしまう人が居るので注意して下さい。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

通しました。

★Welt ade, ich bin dein muede

2回通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
久し振りに全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

7月12日・・・大久保

7月19日・・・大庭()

7月26日・・・大庭()

コンサートのお知らせ

7月8日(土) 14時 東京オペラシテイコンサートホール

渋谷混声合唱団第23回定期演奏会

ドヴォルザーク： スターバト・マーテル

指揮： 水野克彦
ソプラノ： 佐竹由美
アルト： 谷地畝晶子
テノール： 大島 博
バス： 浦野実成
管弦楽： シンフォニア・フォンス・アルモニエ

上松さん、柿沼さん、山村さんが出演します。

9月24日(日) 14時 東京芸術劇場コンサートホール

第13回三菱ダイヤモンドコンサート

ヴェルディ： レクイエム

指揮： 三ツ橋敬子
ソプラノ： 並河寿美
メゾソプラノ： 清水華澄
テノール： 宮里直樹
バリトン： 三原 剛
合唱： オール三菱合唱団
管弦楽： 東京フィルハーモニー交響楽団

平石さんが出演します。

11月26日(日) 14時 紀尾井ホール

三菱東京UFJ銀行合唱団第7回定期演奏会

モーツァルト： ミサ曲ハ長調「戴冠式ミサ」KV317

モーツァルト： 証聖者のための荘厳晩課KV339

指揮： 水野克彦
ソプラノ： 星川美保子
アルト： 谷地畝晶子
テノール： 大島 博
バス： 浦野智行

ソプラノの中西さん、平石さん、テノールの大庭さんが出演します。

2017年6月28日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

記事

発声個人レッスンは上松さんでした。
全体発声は44分。

内容

★Es segne uns Gott

通してから、アルトの15小節から21小節までの部分練習をしました。高い音の部分はもちろんですが、15小節と21小節のフレーズの出だしのAの音をもう少し慎重に歌いましょう。

全パート・・・曲を通して長い音は柔らかく膨らませましょう。

33小節からの部分のalleと fuerchteの語尾の母音を押さないようにして、曖昧な母音で歌いましょう。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

1. Strophe

16小節から20小節はワンフレーズで。

17小節のmoegenのO-ウムラウトはもう少し狭く。

2. Strophe

31小節1拍目のAugenのAを良く響かせましょう。

40小節から44小節はワンフレーズで。

3. Strophe

61小節のvermerketのmeは長母音ではありません！！

(ちなみに95小節のvermehrtenのmeは、次にhが来るので長母音です。)

64小節から68小節はワンフレーズで。

4. Strophe

78小節から82小節はワンフレーズで。

6. Strophe

120小節から124小節はワンフレーズで。

126小節の3拍目と4拍目はつなげないように。Endeの語尾は軽く短く。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 山村
欠席：2名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定

7月5日・・・柿沼

7月12日・・・大久保

7月19日・・・大庭()

7月26日・・・大庭()

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年6月21日 (水)

練習箇所

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

記事

発声個人レッスンは辻村でした。

全体発声は27分。

内容

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

伴奏付きで2回通してから、アカペラで練習しました。

Erloeserの語尾は軽く「ザー」にします。「ゼ」という発音が聞こえないように！

20小節のバスの3・4拍目のsehenは、和音を作るのに重要なのではつきり歌いましょう。

29小節のバスの4拍目のHもしっかり音を出しましょう。

38小節のundは、あまり歌い込まないように。

最後のFremderの語尾は、「ダー」が目立ち過ぎないようにおさめて下さい。

★Welt ade, ich bin dein muede

最後のページ2小節目と4小節目のカデンツが決まるように。

同じく最後のページ3・4小節のnichts denn lauter Eitelkeitは力強く。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

通しました。

25～28小節のes ist nun aus, es ist vollbrachtは流して歌わずに、しみじみとかみしめるように歌いましょう。他の節も同じ。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

通してから、まず3拍子の部分を練習。87小節からの部分はer、mit、ihmをはつきり離して歌いましょう。特にmitとihmが繋がらないように。このerのeは、「エ」よりも「イ」に近く発音して下さい。

バスの99小節の3拍目のDの音が決まらないので注意。

繰り返しの前はテンポを緩めないで下さい。

最後のLebenはLeにしっかりアクセントを付けて下さい。

次にPrestoの部分を実習。gefaelltのA-ウムラウトはこもった感じにならないように、口を前に開けましょう。107小節から3回連続boesenの語尾は、抑え過ぎて音程がなくなってしまうないように、もう少ししっかり歌いましょう。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan
通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西
アルト：上松 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：3人(ソプラノ・テノール・アルト各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
6月28日・・・上松
7月5日・・・柿沼

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年6月14日 (水)

練習箇所

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

記事

発声個人レッスンは中西さん(ソプラノ)でした。
全体発声は30分。

内容

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

129小節からの部分のaberは、音符を分け過ぎないように、そしてalleinの4分音符は角をつけず、全体的に流れるように。

1小節からの部分のistは付点8分音符だけでも引き伸ばし過ぎない。(このフレーズでは一番いらぬ言葉なので)

Ich habe einen guten～ のフレーズは1拍ごとに強弱をつけるとうるさい感じになるので2拍ごとにまとめる。

★Welt ade, ich bin dein muede

2番の歌詞：2小節目3拍目のdaと開けたところでハーモニーが崩れやすいので注意。

8小節目のruheの語尾は日本語の「エ」にならないように緩めて。音価どおりに歌い込まない。そうすれば抑揚が付

き、いかにも話しているようになる。

3番の歌詞：出だしの歌詞unaussprechlichはそれぞれの母音の発音に気をつける。音色、音質のムラが出やすいため。「un」と「aus」を流さず、言い直す。

3番は幸せな気持ちを表している歌詞なので、明るめに歌う。

5小節目のScharは母音が「a」なので下がらないように。アルトは2拍目のteは曖昧母音だが、明るく上がる。

7小節目～のklingetの鼻濁音を意識して作るように。

バス、テナーは7小節目4拍目のin demのdemのところで少し音が外れるので注意。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

下4パートは、13小節以降の細かい音符（werdeのdeとか、16分音符とか）は目立たないように流れて歌う。

13小節目のundは音符は長いですが、歌い込まず置くだけにする。

アルトは14小節目のmitを短めにして次の音にしっかり入る。

25小節：忙しそうに歌わないように。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

1節：2小節目の1拍目はバスの音に対して他のパートの音がぶつかっているので入れ込んで歌う。特にバスとテノール。

5小節目の1拍目の和音を直前の和音と違うことを意識して、しっかり作り直す。Gottの母音にも気をつける。

34小節目の下3パートはNachtを内切りにする。2節以降も全て同様。

2節～：通しました。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

5ページからのPresto：テンポを今までより速くする。

「Er gefaellt」をつながるように歌うと流れができて速く歌える。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

通しました。

出席者

ソプラノ：名阪 中西 平石

アルト：上松 大友 堀江

テノール：小沢 翁長

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：4人(ソプラノ1名・アルト2名・テノール1名)

備考

発声個人レッスンの予定

6月21日・・・辻村

6月28日・・・上松

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年6月7日（水）

練習箇所

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は35分。

内容

★Es segne uns Gott

unserのnをしっかり発音しましょう。uは浅くならないように。語尾のserは曖昧に。
33小節からの部分のalleの発音に注意。「アーレ」にならないように。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

1. Strophe

9小節と22小節のFeirabendの発音に注意。FeirはFeiで終わってしまわずにrまでしっかり発音しましょう。
13小節最後のアルトのリズムに注意。半拍先に出ている他のパートを突き破るように入りましょう。

2. Strophe

32小節最後のアルトのリズムに注意。13小節と同様に。

3. Stropheから先は、最後まで止めずに通しました。

★Jesu meines Lebens Leben

26小節のテノールは、dichと次のerbaermlichが繋がらないように。dichが延び過ぎて
2拍目の入りが遅れる事があるので気を付けましょう。

70小節4拍目のアルトは、EからAの音へしっかり上がりましょう。

3拍目と4拍目の音型の違いにも注意！ 3拍目は「ラソファ」で4拍目は「ラソラ」
です。3拍目も「ラソラ」になっている事があります！

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭
テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：2人(アルト・テノール各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

6月14日・・・中西(ソプラノ)

6月21日・・・辻村

6月28日・・・上松

明日9日から大久保さん、大庭さんご夫妻、辻村の4人は、バッハフェストを聴くためライブツイヒへ発ち、来週は欠席します。同時に4人もお休みして申し訳ありませんが、よろしくお願ひ致します。

現在アマデウスで練習しているRosenmuellerのWelt adeや、Johann Christoph BachのDer Gerechte等も聴けるので楽しみです。しっかり聴いて勉強して来ます！

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年5月31日 (水)

練習箇所

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。

全体発声は36分。

内容

★Der Gerechte ob er gleich zu zeitig stirbt

冠詞のderのrは巻かないように。「デル」ではなく「デア」にします。

Gerechteのrはしっかり巻いて下さい。

obのoは明るい「オ」です。

15・20小節のstirbtは、内切りにするとぶっきらぼうになるので、外切りにします。

der Ruheの二つのrはつなげないで離しましょう。

Er gefaelltの二つの8分音符は離して下さい。gefaelltのa-ウムラウトは、こもらないように明るく。

44小節の3拍目と4拍目は押さないで柔らかくおさめるように歌いましょう。

45小節のausは、aを長く延ばし過ぎて次のuを言う時間がないままsに行ってしまう事が多いので注意。

46小節の最初の和音が決まるように。

48小節から57小節の間に何度も出て来るgeruekketのgは絶対に鼻濁音にしないで下さい！

59小節の最初の和音が決まるように。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers4のバスの入りは要注意です！ 3拍目の通奏低音を聴いてから半拍遅れて出ます。

71小節3拍目裏のFの音は、未だに#が付いてしまう人が居るので気を付けて下さい！

drum lass ich ihn nurのように8分音符が連続して出て来る個所は、全部同じにならないように。

139小節から145小節に出て来るTodとElendのあとは短く。内切りにして下さい。

★Es segne uns Gott

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1名(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

6月7日・・・大庭(アルト)

6月14日・・・中西(ソプラノ)

6月21日・・・辻村

6月28日・・・上松

先週見学に来られた方が今日も来られました。

2017年5月24日（水）

練習箇所

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。
全体発声は37分。

内容

★Welt ade, ich bin dein muede

1番の4頁3・4小節目のnichts、lauter、Eitel等をきつめに。
4小節最後の2分音符の和音をきれいに。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

lebt、werde、Leben、sehen、等の長母音のeが「イ」になり過ぎないように。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

各節最後のgute Nachtはuを深い母音で。語尾のteはアクセントが付かないように。
鼻濁音を意識しましょう(16小節verfangen、20小節ausgegangen、41小節bringest、47小節bringen、59小節
gefangen等)。

二重母音のauは、「アウ」よりも「アオ」に近く(19小節ausgegangen、62小節aus、84小節Lasterhaus、97小節
hinaus、110小節auch、122小節aus、127小節ausbegleiten、134小節aus、163小節Taub、170小節aus、206小節
aus等)。

22小節のlaeuftの語尾の二つの子音をしっかり発音しましょう。

38小節のtagの後のブレスは、8分音符で動いているテノールと合わせましょう。

39・40小節のLebenssonneのLeとsoは強めに。Lebensの最後のsとsonneの最初のsは分けて発音しましょう。

51小節のmeinemのnemは、2拍目が出るソプラノとアルトは男声に吸収されないようにしっかり目に。

76小節のgenesenのneは長母音ですが、ゲニーゼンにならないように。

90小節のLotはLをはじき出して。oは長母音です。

Aegyptenのpをしっかり発音しましょう。116小節のwipptenのppも同じ。

129小節のkommstの語尾の二つの子音をしっかり発音しましょう。

130小節のFreiheitのheitにアクセントが付かないように。

166小節のSeufzenは、語尾を歌い過ぎないように。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1人(アルト)

備考

発声個人レッスンの予定

5月31日・・・大庭()

6月7日・・・大庭()

6月14日・・・

6月21日・・・辻村

見学の方(女性)が来られました(前半の途中まで)。近くにお住まいで、先週通りかかったら歌声が聞こえたので暫く聴いていらしたそうです。ドイツ語の歌を歌った事が無いとの事ですが、興味を示して下さったようで、また見学に来られるかもしれません。

♪ コンサートのお知らせ

6月17日(土) 14時 北とぴあ つつじホール

丸の内グリークラブ第5回定期演奏会

指揮：木場義則、 賛助出演：Angels Choir (平石さんが出演します)

曲目：信長貴富「くちびるに歌を」、木下牧子女声合唱曲選、高田三郎「水のいのち」より

7月8日(土) 14時 東京オペラシテイコンサートホール

渋谷混声合唱団第23回定期演奏会

指揮： 水野克彦

ソプラノ：佐竹由美

アルト：、谷地敏晶子

テノール：大島博

バス： 浦野実成

オーケストラ： Symphonia Fons Harmoniae

曲目： ドヴォルザーク「Stabat Mater」

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年5月17日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。

全体発声は31分。

内容

★Jesu meines Lebens Leben

第1節

2小節目のTodesとTod、4小節目のSeelennotのoは暗めに。

第2節

15小節のStrickとundの間に隙間を入れましょう。Strickのkがもっと出るように。

17小節のzu、20小節のJesuのuの発音が浅くならないように。

第3節

Wunden、schlagen、richten、heilen、Plagen、setzen、Segen、lassen、belegenなど、語尾のnをしっかり発音しましょう。

umやmeinemのmも同じようにしっかり発音しましょう。

第4節

37小節のバスのhatは16分音符で忙しいですが、最後のtを省略せずにしっかり発音しましょう。

40小節のdazuのuが浅くならないように。

41小節のmochtestの最後の子音stをしっかり発音しましょう。

42小節のEhrenkronの二つのnをしっかり発音しましょう。kもしっかり立てましょう。

第5節

59小節1拍目と3拍目のvorの付点が長過ぎないように。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

ist の付点が長過ぎないように。

41小節からのフレーズは、1・3拍と同じように2・4拍も大事に歌いましょう。

111小節からの部分のwelcheの発音に注意。語尾が「へ」にならないように。

137小節からの部分のsondernの発音に注意。soからnに行くのが早過ぎないように、soを長目に。allenは「アーレン」にならないように。

★Welt ade, ich bin dein muede

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

全員出席でした。

備考

発声個人レッスンの予定

5月24日・・・平石

5月31日・・・大庭()

6月7日・・・大庭()

6月14日・・・

6月21日・・・辻村

■冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年5月10日 (水)

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。
全体発声は37分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan
言葉をもう1度確認してから歌いました。

★Es segne uns Gott
通してから、アルトの1~7小節と15~21小節を練習しました。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse
通しました。

★Jesu meines Lebens Leben
第5節のみを通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野
欠席：4人(ソプラノ・アルト各1名、バス2名)

備考

発声個人レッスンの予定
5月17日・・・大久保
5月24日・・・平石
5月31日・・・大庭()

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年5月3日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Jesu meines Lebens Leben
Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

記事

発声個人レッスンは15時から中西さん(バス)、15時30分から大友さんでした。
全体発声は34分。

内容

★Walts Gott, mein Werk ich lasse 17小節のmoegenのO-ウムラウトが「エ」になり過ぎないように。

18小節Sachenのあと、隙間を開けずにanへ。

33小節のJesuのsuが浅くならないように。

39小節のlohnのoは暗く。

40小節のdennは明るく放り投げるように入りましょう。

41小節のbistの「イ」は口を横に開き過ぎないように。次のselbstの最後の3つの子音bstを全部しっかり発音しましょう。

42小節のtretenのeは長母音です。

47小節のregiertのreは長母音ではないので、狭くならないように。

79小節のHerzensのHeは明るく。

81小節のlobは暗く。

89小節のgnaedigのA-ウムラウトは明るく。

158小節、最後のWahrのrはしっかり巻きましょう。

★Jesu meines Lebens Leben

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

★Welt ade, ich bin dein muede

3頁の2小節目終わり、3頁最後、4頁1段目最後、そして曲の最後等の大きな切れ目のハーモニーがきれいに決まるように。

★Ich weiss, dass mein erloeser lebt

13小節のundは膨らませ過ぎないように。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

テノールの31・67・103・139・175・211・247小節の1拍目の音はHに変更します。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

74小節のアルトとバスのEの音がきれいに合うように。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

通しました。

★Es segne uns Gott

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

5月10日・・・柿沼

17日・・・大久保

24日・・・平石

31日・・・大庭()

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年4月26日 (水)

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

発声個人レッスンは上松さんでした。

全体発声は39分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 4

70小節のWasのWをしっかり発音しましょう。Gott のttと次のtutのtがつながらないように、分けて歌いましょう。

74小節も同じ。その3つの8分音符は、真ん中のGottをテヌート気味に。

75小節のLebenは長母音ですが、あまり「リーベン」になり過ぎないように。

77・79小節のBoesesとgoennenのO-ウムラウトは「エ」になり過ぎないように。

85小節のkommtとdieの二つ連続した8分音符は、後の8分音符にアクセントが付かないように。

81小節から最後の部分で、Freud、und、Leid、kommt、Zeit、oeffent-、meinet等の

語尾の子音(t)が聞こえにくいのでしっかり発音しましょう。88小節のesのsも。

Vers 5

8分音符がたくさん並んでいるところは、均等にならないように強拍を長目に歌いましょう。

93小節のテノールの音型は、アルトと同じにします。

115~125小節に出て来るergoetztのerは前綴りのerなので、決して長母音にしないで下さい。zuletztのzuは浅くならないように。

Vers 6

139・140小節と、144・145小節の8分休符前の言葉の語尾の子音は内切りにします

★Es segnet uns Gott

33小節から最後まで部分に何度も出て来るalleの発音に注意。「アーレ」にならないように！

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：1人(バス)

備考

発声個人レッスンの予定
5月3日(3時)・・・中西(バス)、
(3時半)・・・大友
5月10日・・・
5月17日・・・平石

来週5月3日は祭日のため、午後3時から4時まで発声レッスン(二人)、4時から全体練習になります。練習場は9時まで取ってありますが、早く終わる事もあります。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年4月19日 (水)

練習箇所

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er Gleich zu zeitig stirbt
Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

記事

発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は35分。

内容
★Es ist nun aus mit meinem Leben
通しました。

★Der Gerechte, ob er Gleich zu zeitig stirbt
通した後、細かく練習しました。
語尾の子音をしっかり発音しましょう。21小節のdochのch等。
5・6ページのgefaelltのfaelltの部分をテヌート気味に歌いましょう。
wohlも同じように。
48小節から連続して出て来る付点4分音符は長過ぎないように、ごく短めに。次の8分音符に入る前に隙間を開けて歌いましょう。
未だにhingeruekktのgeが鼻濁音になっている人が居ますが、この単語はhinとgeruekktが合わさったものです。geが鼻濁音になる事はありません！
80小節と111小節は、1拍目を半分にして2拍目に休符を入れて下さい。1拍目は2分音符の内切りという感じです。

84小節のpian.の表示を見落とさないで下さい。

最後のページから繰り返す時にまごつかないように、各自工夫して下さい。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

バスは71小節最後から2番目の音はFです。シャープを付けないで下さい。

77・79小節の言葉を正確にお願いします。O-ウムラウトを見落とさないように。

83・85小節のkommtの最後のtと、86小節のoeffentlichのtを省略しないでしっかり発音して下さい。86小節3拍目の16分音符の音型に注意！ 最初のDの次はF#です。

このVers 5はバスのパートソロです。そろそろ音の長さなどを間違えずに歌えるように、予習復習をよろしくお願ひします！

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：1人(ソプラノ)

備考

発声個人レッスンの予定

4月26日・・・上松

5月3日(祭) 3時・・・中西(バス)
3時半・・・大友

5月10日・・・

5月17日・・・平石

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年4月12日 (水)

練習箇所

Johann Michael Bach: Ich Weiss, dass mein Erloeser lebt

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。

全体発声は42分。

内容

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

O-ウムラウトの発音に注意。

undの uの発音に注意。

werde のeは長母音です。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

通しました。

★Der Gerechte ob er gleich zu zeitig stirbt

単語の語尾にアクセントが付かないように。weggenommen、Suendern、geruekket等。語尾の母音は曖昧に。

48小節から57小節の間のund wird hingeruekketをしっかり発音しましょう。hingeruekketは、切れ目を間違えないように。hinとgeruekketが合わさって出来ている単語です。従って、geruekketの最初のgeが鼻濁音になる事は有り得ません！

87小節からの4分音符が並んでいる部分は、一つ一つの音符にアクセントが付かないように。

59小節頭の和音をきれいに。

80小節の1拍目は短くして、2拍目は休符を入れて下さい。111小節も同じ。但し繰り返して戻る時のみ。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1人(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定

4月19日・・・辻村

4月26日・・・上松

5月3日(3時から)・・・未定(希望者はお申し出下さい。)

(3時半から)・・・大友

冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年4月5日(水)

練習箇所

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。

全体発声は42分。

内容

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

一度通した後、71小節から最後の部分を練習しました。

129小節から先のaber alleinのaberは、aをテヌート気味にして語尾は軽く歌いましょう。

sondernの語尾は「デルン」と言わず、曖昧に。

allenの二つ連続した二分音符は、あとの方にアクセントが付かないように、最初の方をテヌート気味に歌いましょう。特に全パート同時に歌う147小節と172小節に注意。

★Welt ade, ich bin dein muede

最初に3番の歌詞で練習しました。

最初のUnaussprechlich schoene singetの発音に注意。Unとausはリエゾンしないで離して発音しましょう。ausとsprechはsを両方ともしっかり発音しましょう。

schoeneのO-ウムラウトは「シェーネ」にならないように、口をもう少し縦に開けて発音しましょう。singetのeは鼻濁音です。強い「ゲ」にならないように。

各フレーズ終わりの和音、3ページ最初の和音、3ページ6小節目最初の和音、4ページ2段目最初の和音が決まるように。

最後に1番から3番までを全部通しました。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

Erloeserの語尾を「ゼル」と言わず、曖昧に歌いましょう。

sehenはズイーエンになり過ぎないように注意。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：2人(アルト・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

4月12日・・・堀江

4月19日・・・辻村

4月26日・・・上松

5月3日(3時から・・・未定)

(3時半から・・・大友)

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年3月29日 (水)

練習箇所

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。

全体発声は54分。

内容

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

最初に通したあと、71小節からの3拍子の部分をパート別に練習しました。

Hinfortの最後のtと、次のistのtをきちんと発音しましょう。

Kroneのoは狭く。

次に111小節からの4拍子の部分をパート別に練習しました。

115小節のテノールの最後の16分音符のCisの音が、時々Dになっているので注意しましょう。

次の129小節からの3拍子の部分は、sondernの発音に注意しましょう。

dernは「デルン」ではなく、曖昧な「ダーン」にしてください。

★Welt ade, ich bin dein muede

最初に3節まで通してから、1節ごとに練習しました。フレーズの終わりのハーモニーがきれいに決まるように。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野

欠席：3人(ソプラノ1名、バス2名)

備考

発声個人レッスンの予定

4月5日・・・大庭(テノール)

4月12日・・・堀江

4月19日・・・辻村

4月26日・・・上松

5月3日(祝) 15時・・・?

15時半・・・大友

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2017年3月22日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。

全体発声は43分。

内容

★Jesus meines Lebens Leben

13小節のachのchをしっかり発音しましょう。

13小節4拍目standenの二つの8分音符は同等ではなく、後の方は押さないように軽く。

14小節3拍目のテノールとバスの付点8分音符は長過ぎないように短めに。Hohnの母音は狭く。

16小節gerechterの語尾は「テル」ではなく、軽く曖昧な「ター」にしましょう。

17小節のアルトの2拍目裏の音はE→Fです。15小節と混同してEからAに行かないように注意。

18小節のTeufelsは、最後のsまでしっかり発音しましょう。

19小節のtausendmalのdも省略しないように。

19から20小節にかけてのバスのliebsterは、sが「シュ」になってしまう事が多いので注意！ 語尾のterは「テル」ではなく、軽く曖昧な「ター」にして下さい。

28小節のテノールの4つ連続した8分音符は、2つ目と4つ目を軽く歌いましょう。

32小節のliebsterの語尾は「テル」ではなく、軽く曖昧な「ター」にしましょう。

39小節のangekroenetのgは鼻濁音にならないようにしましょう。

44・62・66小節のliebsterの発音に注意。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

最初の、題名と同じ言葉の部分で、istの付点8分音符が長過ぎないように。

51小節からのIch habe Glauben gehaltenの言葉の部分で、gehaltenのgが前のGlaubenと?がって鼻濁音になりがちなので気を付けましょう！

111から127小節までのフレーズに出て来るRichterの語尾に注意。テルではなく、軽く曖昧なターにしましょう。

129から163小節までのフレーズに出て来るaberは、アーベルではなく、アーバーに。但し「バー」は曖昧に。

164から186小節に出て来るsondernは、ゾンデルンではなくゾンダーンに。「ダーン」はもちろん曖昧に。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 山村

欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月29日・・・大庭()

4月5日・・・大庭()

4月12日・・・辻村

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年3月15日 (水)

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

Georg Philipp Telemann; Es segne uns Gott

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

記事

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は53分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

全曲通しました。

Vers4のバスの2小節目の3拍目裏はFです。未だにシャープを付けて歌っている人が居ますので、楽譜をよく見直して下さい。

★Es segne uns Gott

1度通したあと、15小節からのアルトの練習をしました。16小節のDの音程が上がり切っていない人が目立つので注意しましょう。

58小節のテノールの入りのDの音は、アルトのC#とぶつかっていて入りにくいのでしっかり出しましょう。

60小節1拍目のA-Durの和音がきれいに決まるように。

60小節から64小節のテノールは音が跳躍しているので、しっかり決めましょう。

アルトは29ページに何度も出て来るA#の音が外れやすいので注意。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

通しました。

★Jesu meines Lebens Leben

49小節から最後まで4声の部分を通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
先週に続き、全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定
3月22日・・・大久保

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年3月8日（水）

練習箇所

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

記事

発声個人レッスンは椎野さんでした。
全体発声は38分。

内容

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

今日の練習の最初と最後に1度ずつ、全曲通しました。

71小節のバスの3拍目裏はFです。毎回シャープを付けて歌っているので直して下さい！

86小節のoeffentlichのO-ウムラウトが取れてしまっています！

erscheinetの発音を正確に。erは前綴りのerです。長母音にしないで下さい。シャ〜で延ばすところが何故かシェになっています・・・！ カタカナで書くと、エアシャイネットです。

162小節のアルトは2拍目裏のFにシャープを付けないように。

★Es segne uns Gott

最初に32小節までを歌い、その後部分練習をしました。

19小節のソプラノとアルトのGottの語尾を揃えましょう。

21小節3拍目のアルト、22小節1拍目のテノール、3拍目のソプラノ・バスの順に新しくes segne uns Gottのフレーズが始まるので、出だしを意識して歌いましょう。その前の各パートのGottは前のフレーズの終わりなので、次のフレーズ最初のesまでつながらないように、きちんとコンマを入れて下さい。

33小節から最後までも練習しました。

60・61小節のアルトの歌詞は、テノールと同じにします。60小節最後のコンマを消して、61小節最初のWeltをihnにして下さい。

★ Walts Gott, mein Werk ich lasse

18小節のSachenのあと、ブレスなしで次のanに入りましょう。

80小節のGrundeのあとも、次のdichにつなげて下さい。

122小節のvollendeからdiesも同じ。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 名阪 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
今日は全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定
3月15日・・・柿沼
3月22日・・・大久保

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年3月1日（水）

練習箇所

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Johann Christoph Bach: :Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

記事

発声個人レッスンは中西さん(ソプラノ)でした。
全体発声は44分。

内容

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
2度通しました。

語尾を歌い過ぎないように注意。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

フレーズの終わりの語尾を押さないように。特に47小節から48小節にかけてのSuendernのdernや、57小節のhingeruekketのketが強くなるように。

80小節最初のletは前の小節の続きでフレーズの最後なので、おさめます。最初の2拍分の全音符は2分音符と2分休符に分け、letは1拍分の内切りにします。

111小節から戻る時も同じようにします。benは1拍分の内切りにして、2拍目は休符を入れます。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

1度通しました。

各節とも、ソプラノの最後から2番目のDの音は、伴奏には無い音です。伴奏のCisの音に消されてしまわないように意識して歌いましょう。

合唱には直接関係ありませんが、Basso continuoの18・54・90・126・162・198・234小節のGの音に#を付けて下さい。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 6から練習しました。

最初のWas Gott tutのGottとtutをつなげないように。

テノールの153小節から続く154小節のArmの語尾ですが、先週はArmenに訂正しましたが、楽譜通りにArmのままにします。160小節も同じです。

161小節のテノールから始まり、各パートに出て来るdrumのdを意識して発音しましょう。次のlass とichはしっかり区切り、リエゾンしないように。

Vers 5

シラブルが二つ以上の言葉が切れ切れにならないように。特にwohlgetan。

最初のWas Gott tutは、Gottとtutを分けて歌いましょう。8分音符が続きますが、全部同等に歌わないように。音符だけではなく、言葉の意味を考えながら歌いましょう。

101小節からの部分も同じです。

Vers 4

バスは71小節のFの音に#を付けないように。

コンマで次に慌てて突っ込まないように注意。

Vers 1からVers 6まで全曲通しました。

来週からは最初に戻り、Telemannから順番に練習します。暫く歌っていないので、思い出しておいて下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 中西

アルト：上松 大久保 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野

欠席：5人(ソプラノ2名、アルト1名、バス2名)

備考

発声個人レッスンの予定

3月8日・・・椎野

3月15日・・・柿沼

☆ 8月の練習会場の変更と臨時練習の追加について

8月9日(水)の練習会場が変更になります。時間はいつもの水曜日と同じ。

8月11日(金・祝)に臨時練習を行います。時間は午後3時から8時。
場所は両日ともスタジオ・アンダンティーノ(JR田端駅北口より徒歩3分)です。地図は各自、HP等で調べて下さい。
希望者はお申し出下さい。

☆ 10月8日の本番の開演時間は、例年より30分遅い午後6時半に変更しました。

冒頭へ

月初の練習日に移動

2017年2月22日 (水)

練習箇所

Johann Michael Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

記事

発声個人レッスンは小澤さんでした。
全体発声は37分。

内容

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

15・20小節のstirbtが短くなり過ぎないように。

26小節から41小節に出て来るgefaelltが二つに分かれないように。

48小節からの付点音符が長過ぎないように。

geruekketのgeが鼻濁音にならないように。男声にその傾向があります！66小節の第2テノール、2番目の音は急に高くなるのでアクセントが付きがちですが、語尾なので抜いて歌いましょう。67小節の第2テノールの1拍目のAは膨らませましょう。そしてバスのBとのぶつかりを意識しましょう。

80小節のletのあとは切れ目を入れます。

96小節のアルトの最後の音が上がり切らない事が多いので注意しましょう。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

言葉を付けて、全曲練習しました。

Vers 2・・・45小節のアルト、Fの音に#を付けてしまわないように！

Vers 6・・・162小節のアルト、Fの音に#を付けないように注意しましょう！

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

1度通しました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 平石

アルト：大久保 大庭 堀江

テノール：小澤 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

欠席：欠席3人(ソプラノ1名、アルト2名)

備考

発声レッスンの予定
3月1日・・・中西(ソプラノ)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年2月15日 (水)

練習箇所

Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

記事

発声個人レッスンは大庭さん(テノール)でした。
全体発声は38分。

内容

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

最初に全曲通したあと、11ページから最後のページまでの3拍子の部分を練習。

次に9・10ページのAdagioの部分を、最初に全パートで、次に男声3パートで練習しました。76小節のwordenの語尾はアクセントが付かないように曖昧に。

★Was Gott tut, das ist wohlgetan

Vers 1から順番にヴォカリーゼ(lo)でVers 6まで音取りしました。

Vers 3とVers 5を、歌詞を付けて歌いました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定
2月22日・・・小沢
3月1日・・・中西(ソプラノ)

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年2月8日 (水)

練習箇所

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は36分。

内容

★Es ist nun aus mit meinem Leben
全曲通しました。

★Der Gerechte ob er gleich zu zeitig stirbt

最初にヴォカリーゼ(lo)で、先週音取りした最初の2頁を2回歌いました。
次に色々なパートの組み合わせで、5ページから10ページまでの音取りをヴォカリーゼで。そのあと歌詞を読んでから、歌詞を付けて練習しました。
74小節のバスの最初のト音記号をヘ音記号に書き換えて下さい。
残りの時間で、11ページから最後まで同じように練習しました。
最後に、最初から最後まで全曲通して歌いました。

来週はこの曲と、新しい曲PachelbelのWas Gott tut, das ist wohlgetanも練習予定です。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小澤 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 山村
欠席：1名(バス)

備考

発声個人レッスンの予定
2月15日・・・大庭(テノール)
22日・・・未定
希望者は辻村までお申し出下さい。

1月30日に急死された元団員の片岡さんのお通夜が2月6日(月)、告別式が7日(火)に行われ、アマデウスからも水野先生をはじめ、たくさんの方がお別れをして来ました。
片岡さんは、毎年定演では楽譜カバーの用紙を提供して下さったり、他にも色々お世話になりました。今まで本当にありがとうございました！

■ [冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2017年2月1日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse
Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

記事

発声個人レッスンは辻村でした。
全体発声は41分。

内容

★Walts Gott, mein Werk ich lasse
1回通しました。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt
2回通しました。32・35・38小節のundの母音に注意。

★Welt ade, ich bin dein muede
2回通したあと、第2節と第3節を練習しました。フレーズの終わりの和音に注意。
2ページ目の2小節目のzuのuが浅くならないように気を付けましょう。特にアルトが目立ちます！
最後のページ下段5小節目のFriedeから次の小節のFreudに行く時に、コンマを活かして少し隙間を開ける事になっていたはずですが……。FriedeとFreudをつなげて歌うとFriedefreudのように聞こえてしまいます！

★Es ist nun aus mit meinem Leben
最初に第7節まで歌詞を付けて全曲通したあと、まだ言葉を付けていなかった第4～7節を、それぞれ歌詞を読んでから歌いました。
各節の終わりの方に出て来る休符は全て外切りにします。
第7節222小節の歌詞はseilletになっていますが、stilletに訂正して下さい。対訳のほうも同じです。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
最初の2頁を練習しました。最初にヴォカリーゼ(lo)で練習してから言葉を読み、その後、言葉を付けて歌いました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 椎野 中西 山村
欠席：1名(テノール)

備考

発声個人レッスンの予定
2月8日・・・大庭(テノール?)
2月15日・・・大庭(アルト?)

訃報
1988～2014年まで在籍、その後休団中だったテノールの片岡さんが1月30日に亡くなられたそうです。57歳でした。お仕事が忙しくて練習に来られないと伺っていたのですが……。2年前まで毎週一緒に歌っていた仲間が亡くなるのはとても悲しいです。
ご冥福をお祈りします。

2017年1月25日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse, BuxWV103

Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben

記事

発声個人レッスンは堀江さんでした。

全体発声は27分。

内容

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

部分練習をしながら最後まで歌いました。

wieder、schuldger、dieserの語尾はそれぞれデル、ゲル、ゼルではなく、軽く曖昧なダー、ガー、ザーにして下さい。

第5節最初のErhoereの前綴りのErは長母音にしないで下さい。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

アカペラで練習しました。

Erloeser、wieder、dieser、meiner、Fremderの語尾の発音に注意。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

ヴォカリーゼ(lo)で音取りしました。

テノールの各節の最後から6小節目の最初の音を、CではなくDに変更して下さい(31・67・103・139・175・211・247小節)。

ソプラノの各節の最後から3小節目の連続した8分音符は、二つずつ区切って歌いましょう。

第1節の歌詞を読んでから、言葉を付けて歌いました。

15~16小節のverfangen、19小節のausgegangenの語尾のgenは鼻濁音です。

第2節の言葉を読んでから、言葉を付けて歌いました。

41小節のbringest、47小節のbringen、59小節のgefangenの語尾のgenは鼻濁音です。

第3節の言葉を読んでから、言葉を付けて歌いました。

91小節のWegは長母音です。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 翁長 大庭

バス：柿沼 椎野 中西 山村

久し振りに全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

2月1日・・・大庭(テノール?)

2月8日・・・大庭(アルト?)

[冒頭へ](#)[月初の練習日に移動](#)

2017年1月18日 (水)

練習箇所

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse, BuxWV103
 Johann Michael Bach: Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

記事

発声個人レッスンは大久保さんでした。
 全体発声は39分。

内容

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

25小節までをヴォカリーゼ(子音無し・ウ)で音を確認してから、言葉を最後まで読み、言葉を付けて通しました。

★Ich weiss, dass mein Erloeser lebt

最初に第1テノールとバス、アルトと第2テノール、ソプラノとバスの組み合わせで、ヴォカリーゼ(lo)で音取り後、5声で合わせました。

最後に言葉を読んだ後、言葉を付けて通しました。

17小節のバスの最初の四分音符は、他のパートと合わせて2分音符に訂正して下さい。

来週はJohann Christoph BachのEs ist nun aus mit meinem Lebenも練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
 アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
 テノール：小沢 翁長 大庭
 バス：柿沼 椎野 中西
 欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

1月25日・・・堀江

2月1日・・・辻村

[冒頭へ](#)[月初の練習日に移動](#)

2017年1月11日 (水)

練習箇所

Telemann: Es segne uns Gott

Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben, BuxWV62

Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede

Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse, BuxWV103

記事

今年初めての練習でした。

発声個人レッスンは柿沼さんでした。

全体発声は44分。

内容

★今までに音取りが済んだ4曲をそれぞれ2回ずつ通しました。

★Walts Gott, mein Werk ich lasse

ヴォカリーゼで最後まで音取りをしたあと、138小節から最後まで部分練習をしました。

来週は言葉を付けます。

来週はJohann Michael BachのIch weiss, dass mein Erloeser lebtも練習します。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石

アルト：大久保 大友 大庭 堀江

テノール：小沢 大庭

バス：柿沼 中西 山村

欠席：3人(アルト・テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定

1月18日・・・大久保

25日・・・

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年12月28日（水）

記事

今日は年内最後の練習の予定でしたが、同仁教会が26日からお休みに入っていたため、急遽練習が中止になりました。（同仁教会側に責任はありません！）

早く着いたメンバーが手分けしてメール連絡したり、交差点前や同仁教会前で団員を捕まえたり、9時過ぎからの予定の忘年会を、お店と交渉して30分ほど早めていただいたり、バタバタしましたが連携プレーで何とか切り抜ける事が出来ました。

皆が上島珈琲店に集まった後は、そこに残る組とはなの舞に移動する組に分かれ、忘年会までの時間を潰しました。

家が遠いため、忘年会には参加せずに練習だけ参加して帰宅する予定だった二人の方は、思いがけず他のメンバーと話す機会が出来て良かったようです。

忘年会は、4月に水野先生の還暦祝いを行ったスペランツァというイタリア料理店で、先生を含め12人で楽しく盛り上がりました。

新年の練習は予定通り1月11日から開始します。 団費と楽譜代のご用意をお願いします。
年末年始のお休みの間に、時間のある方は予習復習をよろしくをお願いします。

備考

発声個人レッスンの予定

1月11日・・・柿沼

18日・・・大久保

25日・・・

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年12月21日（水）

練習箇所

Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

Rosenmueller: Welt adee, ich bin dein muede

記事

発声個人レッスンは中西さん(ソプラノ)でした。

全体発声は45分。

内容

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

最初に先週の復習。127小節まで通してから111～127小節までの言葉を読み、パート別に練習しました。

Richterの語尾は「テル」と言わず、曖昧な「ター」にしてください。

次に129小節から最後までを練習。最初にヴォカリーゼで歌ってから言葉を読み、部分練習。143小節の和音をきれいに。

sondernの語尾は「デルン」ではなく、曖昧な「ダーン」にしてください。

aberも、「アーベル」ではなく、「アーバー」にしてください。「バー」はもちろん曖昧に！

★Welt adee, ich bin dein muede

最初にヴォカリーゼで区切りながら最後まで音取りしてから、言葉を読みました。

第1節の最後のページ3小節目のnichts denn lauterの4つ連続した4分音符は、同等ではなく1拍目と3拍目をテヌート気味に。lauterの語尾は、「テル」ではなく曖昧な「ター」にしてください。

下の段2小節目のHimmelは、melにアクセントが付かないように。

5小節目のFriedeのdeは短めにして、次のコンマを活かしましょう。FriedeとFreudをつなげて歌わないように。

第2節の最初のWennと ichはリエゾンしないように。

第3節も歌いました。

来週は新しい曲Johann Michael Bach: Ich weiss dass mein Erloeser lebtも練習予定です。

楽譜代が決定しました。7,500円を、1月以降に団費と一緒に支払い下さい。

出席者

ソプラノ：辻村 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：2人(ソプラノ・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
12月28日・・・大久保
1月11日・・・柿沼

来週は年内最後の練習です。練習後に忘年会を行います。会費は5,000円です。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年12月14日（水）

練習箇所

Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

記事

発声個人レッスンは平石さんでした。
全体発声は43分。

最初に、先週練習した65小節までを全パートで通してから、25～38小節をソプラノとテノール、アルトとバスの組み合わせで練習。その後23～65小節までを全パートで合わせました。

次に51～65小節を全パートで歌ってから、59小節のバス、54・55小節のアルトとテノールを練習後、51～65を全パートで合わせました。

71～89小節までの部分の歌詞を読んでから、パート別に練習して合わせました。

91～108小節もパート別に練習してから合わせました。

休憩後、総会を開きました(13分程)。

残りの時間で111～127小節をヴォカリーゼでパート別に練習してから合わせました。

120小節のテノールとバスのリズムを変更しました。1・2拍目のバスはテノールと同じにします。3・4拍目はどちらも付点4分音符+8分音符にします。(118小節のアルトと同じリズムになります。)

来週は続きを練習します。

※新しい楽譜2種を配布しました。

Dieterich Buxtehude: Walts Gott, mein Werk ich lasse

Johann Pachelbel: Was Gott tut, das ist wohlgetan

これで全曲出揃いました。
楽譜代の金額は来週までに決定します。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
12月21日・・・中西(ソプラノ)
28日・・・

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年12月7日 (水)

練習箇所

Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben, BuxWV62
Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)でした。
全体発声は43分。

内容

★Jesu meines Lebens Leben

先週は最後の4声の部分しか練習しなかったため、今日は最初から順番に全曲練習しました。14小節のLaesterredenのLaesterの語尾は、「テル」ではなく、曖昧な「ター」にして下さい。16小節のgerechterと20小節のliebsterも同様に。liebsterは他にも32・44・62・66小節にも出て来ます。

liebsterのsは絶対に「シュ」にならないようにお願いします！

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

最初に38小節までの言葉を読んでから、出て来る順番でパート別に練習したあと4声で合わせました。
40～65小節までは、最初に言葉を読んでから全パートで合わせました。続きは来週。

配布物

1. 楽譜・・・Johann Christoph Bach : Es ist nun aus mit meinem Leben
以前配布した楽譜は歌詞が読み難いので、水野先生が見易いように作って下さいました。

2. 訳

Johann Christoph Bach : Es ist nun aus mit meinem Leben(4枚)
Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt(1枚)

Buxtehude : Walts Gott, mein Werk ich lasse(3枚)

Johann Pachelbel : Was Gott tut, das ist wohlgetan(3枚)

訳はこれで全曲出揃いました。皆さんが曲の内容を理解出来るようにと、水野先生が大急ぎで作って下さいましたので、よく読んで勉強しましょう。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：上松 大久保 大友 大庭 堀江
テノール：小沢 大庭 翁長
バス：柿沼 椎野 中西 山村
今日は全員出席でした！

備考

発声個人レッスンの予定

12月14日・・・平石

21日・・・中西

28日・・・

来週(14日)は8時頃から、年に1度の総会を開きます。

28日は年内最後の練習ですが、練習後に忘年会を行います。

来年の定演の前日のオケ合わせは、10月7日(土)の13時～17時に同仁教会礼拝堂で行う事に決定しました。

[冒頭へ](#)

月初の練習日に移動

2016年11月30日 (水)

練習箇所

Telemann: Es segne uns Gott

Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben

記事

発声個人レッスンは大庭さん(アルト)の予定でしたが、都合が悪くなられたため、辻村に変更になりました。全体発声は60分。

内容 ★Es segne uns Gott 最初に全パート一緒にヴォカリーゼで全曲通しました。

68小節から69小節への和音がきれいに決まるように。

20小節のアルトの高い音を練習。

33・34小節のソプラノの練習。

言葉を読んでから、言葉を付けて歌いました。

48～53小節のソプラノは、それぞれの小節の2拍目の音がD→D#→E→F#→Gと上がって行くので、ギアをチェンジするようにそれぞれの部分を分けて入り直すような気持ちで歌いましょう。

テノールは37小節から最後までを練習しました。裏声と表声を上手に切り替えながら歌いましょう。

最後に全パートで通しました。

★Jesu meines Lebens Leben

今日は第5節(49小節から最後まで)の4声の部分)を練習しました。

少しずつ区切りながらヴォカリーゼでアルトとバス、ソプラノとテノールの組み合わせで練習したあと、言葉で歌い

ました。

61・65小節のtausendmalは、3拍目のmalにアクセントが付かないように。次のseiと?げない方が良いでしょう。最後に5節を最後まで通しました。残りは来週練習します。

来週はブルーンズも練習の予定です。

先週に引き続き、水野先生から訳が配布されました。今日はテレマン、ローゼンミュラー、J.M.バッハ。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江 (上松)
テノール：翁長 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

発声個人レッスンの予定
12月7日・・・大庭(アルト)
14日・・・平石
21日・・・
28日・・・

先日の演奏会のDVD希望者は大久保さんにお申し込み下さい。

[冒頭へ](#)

[月初の練習日に移動](#)

2016年11月23日 (水・祝)

練習箇所

Johann Rosenmueller: Welt ade, ich bin dein muede
Johann Michael Bach: Ich weiss, das mein Erloeser lebt
Johann Christoph Bach: Es ist nun aus mit meinem Leben
Georg Philipp Telemann: Es segne uns Gott
Johann Christoph Bach: Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt
Dieterich Buxtehude: Jesu meines Lebens Leben
Nicolaus Bruhns: Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

記事

13日の定演後、初めての練習日でした。3階での練習予定でしたが、急遽2階のいつもの部屋が使えるようになりました。祭日のため15～20時までしっかり練習しました。

配布してある7曲全部の音取りをして、そのうちの3曲は言葉も付けました。

発声個人レッスンは無し。
全体発声は47分。

内容

★Welt ade, ich bin dein muede

少しずつ区切りながら2~3パートずつ、ヴォカリーゼで音取りしました。
言葉を付けました。

★Ich weiss, dass mein Erloeser

最初に第2テノールとバス、次に第2テノールとアルト、そしてソプラノも加わり、ヴォカリーゼで音取りしました。
17小節最初のバスは4分音符になっていますが、上3声と同じ2分音符に変更して下さい。

★Es ist nun aus mit meinem Leben

最初にテノールとバス、次にソプラノとアルトの組み合わせで音取りしてから合わせました。

★Es segne uns Gott

最初にソプラノとアルト、次にテノールとバスで音取りしてから合わせました。
言葉を付けました。

★Der Gerechte, ob er gleich zu zeitig stirbt

最初に3・4頁を第2テノールとバス、アルトと第1テノール、ソプラノとアルト、第1テノールと第2テノール、ソプラノとバス、アルトと第2テノールの組み合わせで音取り後、5声で合わせました。
次にPrestoの部分をアルトとバス、ソプラノと第2テノール、第1テノールとバス、アルトと第2テノールの組み合わせで音取り後、合わせました。
Adagioの部分の9・10ページは全パート一緒に練習。
11ページから最後までは第1テノールとバス、ソプラノとアルト、ソプラノと第2テノール、第2テノールとバス、第1テノールと第2テノール、アルトと第1テノールの組み合わせで音取り。最後に合わせました。
言葉を付けました。

★Jesu meines Lebens Leben

順番に全曲音取りしました。

★Die Zeit meines Abschieds ist vorhanden

アルトとバス、ソプラノとテノールの組み合わせで音取りしてから合わせました。

来週はテレマンのEs segne uns Gott、ブクステフーデのJesu meines Lebens Leben、そしてブルーンズのDie Zeit meines Abschieds ist vorhandenの3曲を練習する予定です。

※水野先生からブクステフーデのJesu meines Lebens Lebenとブルーンズの訳が配布されました。

出席者

ソプラノ：辻村 名阪 中西 平石
アルト：大久保 大友 大庭 堀江 (上松)
テノール：小沢 大庭
バス：柿沼 椎野 中西
欠席：2人(テノール・バス各1名)

備考

見学の方が来られ、最初から最後まで練習に参加されました。

12月14日に総会を開きます。

先日の定期演奏会の入場者は135人でした。一般116名(当日売り6名を含む)、招待19名

来年の定演は10月8日ですが、前日の7日(土)にオケ合わせ(1時半~5時半)の予定で調整中です。

発声個人レッスンの予定

11月30日・・・大庭さん(アルト)

12月7日・・・

12月14日・・・

12月21日・・・

12月28日・・・